

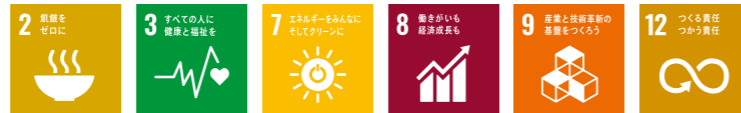


近藤スウィンポーク

前橋市

代表者：近藤崇幸
設立年月日：1983年7月5日
資本金：800万円
従業員数：7人

住所：前橋市富士見町皆沢73
TEL：027-288-3715
URL：https://swine-pork.com



WEBサイト

● 事業者紹介

赤城南麓の豊かな自然が広がる前橋市富士見町で、愛情込めて養豚業に取り組んでいます。「自分の子供に安心して食べさせられるものをつくりたい」という想いから、養豚業を営みながら自社ブランド豚肉「近藤スウィンポーク」を使い、肉本来の味を堪能できるウインナーやベーコン、生ハム等を販売しています。



● 経緯・背景

「人にやさしく・豚にやさしく・環境にやさしく」。この企業理念のもと、持続可能な農業への取組で地域社会へ貢献していきます。



● 具体的な取組や成果

独自の SDGs 宣言により、7 つの具体的な目標に取り組んだ結果 CO2 削減やごみ削減、雇用問題などで成果を残し、地域に貢献

【具体的な取組】

- 再生可能エネルギーである太陽の自然エネルギーを農場で発電・使用し、CO2 削減に貢献。
- 食品工場で廃棄している規格外品等で、豚の栄養としてすぐれているものを飼料として使用。ごみを削減します。
- スタッフの生活スタイルに合わせて、フレックスタイム制や副業等を導入し、女性スタッフも働きやすい職場をつくりました。
- 健康に害を与える恐れがあるもの（食品添加物等）を使わず、人にやさしい食肉加工品を販売。
- 地元の遊園地「るなぱーく」と学生との米作りプロジェクトで食育活動や農業体験を行い、地域に貢献。
- 販売で使用する包装を簡素化し、ごみの量を削減。

- 清掃、消毒等により農場をきれいにし、豚がストレスなく快適に過ごせるようにします。

【成果】

- 太陽光発電による CO2 削減量は 9 年間で 140,000kg-CO2 (石油換算で 101,000l 分)。
- 工場等からの産業廃棄物 (ホエイ、アーモンド等) のごみ削減量は年間 650t 以上。
- スタッフは 7 人中 5 人が女性。
- るなぱあく・勢多農林高等学校、前橋工科大学との米作りプロジェクトを 2017 年から継続中。(一般財団法人公園財団主催の「公園・夢プラン大賞 2019」で優秀賞受賞。農林水産省主催の「令和3年度地産地消等優良活動表彰」で教育部門大臣官房長賞受賞)



農場内にある太陽光発電設備



米作りプロジェクトの田植え風景

当社にとっての SDGs ビジョン

自然と共に生きる農家の 当たり前に見える形で伝える

農家は昔から自然と共に生きてきました。それを見える化したものが SDGs だと思います。我々農家が以前から行ってきた取組を伝えることは、それを付加価値として生き残る一つの手段にできる可能性があります。当たり前に行ってきたことをこれからも伝えていきます。

今後の展望と求めるパートナー像

循環型農業に興味のある 企業や農家との連携を希望

今現在、取引のある企業・農家との連携を強化し、循環型農業を確立していくために、今まで以上に地域の農家に堆肥の提供や豚肉販売で地産地食の促進をしていきます。こうした取組に興味のある方々と連携し、一緒に SDGs 事業に取り組んでいきます。